学科の特徴

1. 高い一級建築士合格者数

例年、全国上位、中部地区１位を維持しています。学科のカリキュラムは全卒業生が受験資格を得られるように編成されています。

2. 充実した実験施設

様々な研究機関や企業との共同研究を行う充実した実験施設を整備しており、学生も研究に参加して実践的な知識・技術を身につけられます。

3. 自主的な学び

少人数でのゼミナールや設計競技・コンペへの参加を通して、学生自身の考えやアイデアを発表することの喜びを実感し、知識と経験を高めるとともに、コミュニケーションやプレゼンテーションの力を磨きます。

4年間学びのカリキュラム

●必修科目 ●選択必修科目 ○選択科目 ●自由科目
この他に総合基礎部門の科目があります

	1年次	2年次	3年次	4年次
	理工学基礎領域の基礎となる科目や製図を学ぶ	専門を学ぶための科目と平行して、工学分野の実験や設計デザインを通して幅広い知識の深める		応用力・想像力を養う卒業研究・卒業制作の取り組み
理工学基礎科目	● 微分積分Ⅰ・Ⅱ ● 線形代数Ⅰ・Ⅱ ● 物理学Ⅰ・Ⅱ ● 物理学実験Ⅰ・Ⅱ ● 化学Ⅰ・Ⅱ ● 物理学演習 ○ 化学実験Ⅰ・Ⅱ ○ 生物学 ○ 理工学概論 ● コンピューターリテラシー ● 数学基礎演習Ⅰ・Ⅱ ● 物理学基礎演習Ⅰ・Ⅱ ● 化学基礎演習Ⅰ・Ⅱ ● 英語基礎演習Ⅰ・Ⅱ	○ 地学Ⅰ・Ⅱ ○ 生物学実験 ● 技術者倫理	○ 地学実験Ⅰ・Ⅱ	
計画	● 建築計画概論 ● デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ	● 建築計画Ⅰ・Ⅱ ● 都市計画 ● 基本空間デザインⅠ・Ⅱ ● CADデザイン	● 建築計画Ⅲ ● 住宅計画論 ● 建築デザインⅠ・Ⅱ ● 建築法規行政 ● インテリアデザイン	● 地域計画
歴史・意匠	● 建築史概論	● 西洋建築史 ● 日本建築史	● 近代建築史	● アジア建築史
環境・設備	● 建築環境概論	● 建築環境工学 ● 建築環境物理 ● 建築設備概論	● 建築環境計画 ● 建築環境実験 ● 建築設備工学Ⅰ・Ⅱ	● 都市環境デザイン
構造	● 構造力学概論 ● 構造力学Ⅰ ● 建築構造概論	● 構造力学Ⅱ・Ⅲ ● 建築各種構造Ⅰ・Ⅱ	● 建築構造計画 ● 建築構造デザインⅠ・Ⅱ ● 建築構造実験 ● 耐震工学	● 建築構造設計 ● 都市防災
材料・生産	● 建築材料概論	● 建築材料 ● 建築生産概論	● 建築材料実験 ● 建築生産Ⅰ・Ⅱ	● 建築維持保全
建築・総合	○ ワークショップ	○ 建築応用数学	○ インターンシップ ○ 設計総合演習 ● ゼミナールⅠ・Ⅱ	● 卒業研究・卒業制作

※カリキュラムは変更される場合があります。

取得できる主な免許・資格

卒業とともに取得できる主な免許・資格

- ●高等学校教諭一種免許状（理科・工業）
- ●中学校教諭一種免許状（理科）
- ●学芸員 など

卒業とともに受験資格が得られる主な資格

- ●一級建築士†
- ●二級建築士
- ●消防設備士（甲種） など

†免許登録には所定の実務経験年数が必要です。

在学中に受験できる主な資格

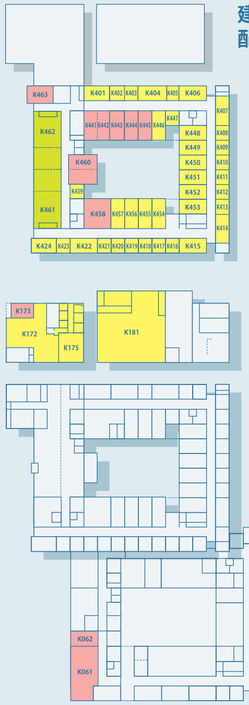
- ●宅地建物取引主任者
- ●インテリアコーディネーター
- ●インテリアプランナー
- ●福祉住環境コーディネーター など

卒業後実務経験で受験資格が得られる主な資格

- ●労働安全（衛生）コンサルタント
- ●建築施工管理技士●土木施工管理技術士
- ●建設機械施工技士●コンクリート主任技士
- ●コンクリート診断士 など

※資格取得には、課程科目の履修や所定の単位の修得などが必要な場合があります。

建築学科配置図



4F

401〜457：研究室・学生実験演習室
441〜442：建築情報デザイン演習室
443〜445：建築環境実験室
458：空間計測装置室
459：演習資料室
460：建築デザイン実習室
461〜462：制作室３・４（3F：制作室１・２）（学部共有）
463：都市環境実験室

1F

172・175：建設系材料実験室（他学科共用）
173：実験機器資材保管庫（2F: 工作室・測定器室）
181：構造耐震実験室（他学科共用）

B1F

061：都市防災耐震工学複合実験室
062：建築設備実験室

大学院進学について…

まだまだ先の話ですが、大学を卒業したら…と想像したことはありますか？
就職して社会へ羽ばたく、と考えているかもしれません。そこで知っておいて欲しいもう１つの進路があります。それが「大学院進学」です。大学院は、大学で学んだ知識を使って活躍するために、より高い専門性を身につけるところです。そのため、専門力が問われる理工学系の分野では、大学院への進学は珍しいものではありません。当学科では、各教員の指導のもとで専門力を伸ばせる研究体制とともに、より幅広い知識も修得できるカリキュラムを用意しています。大学院で建築のスペシャリストを目指す未来も考えてみませんか！

MEIJO UNIVERSITY ARCHITECTURE
Faculty of Science and Technology

名城大学 理工学部 建築学科
〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
TEL：052-832-1151（代） wwwra.meijo-u.ac.jp

MEIJO UNIVERSITY
理工学部
建築学科
ARCHITECTURE
Faculty of Science and Technology

名城大学

MEIJO UNIVERSITY ARCHITECTURE
Faculty of Science and Technology

アートとサイエンスとテクノロジー
そして「デザイン」と「エンジニアリング」
その融合が建築

建築学は魅力的な人間社会と生活環境を造るために必要となる工学・技術・芸術を融合的に体系づけ、
安全性・機能性・快適性を重視した空間創造を追求する学問です。

建築への追求と創造

建築を学ぶ学生には、広い視野で事象を見分ける目と、知識や技術そして文化や芸術にも造詣を深める知性と感性が肝要です。本学科では、このような工学性と芸術性を融合して空間を造り出す術を学び、ものづくりに感動できる実践的な教育を行っています。カリキュラムは、学生の知的好奇心を刺激し、建築技術者や建築家に必要な基礎知識と、人間と社会との関わりについての深い洞察力を身につけられるようになっており、建築が担う社会的な役割に貢献しうる人材の育成を目指しています。こうした教育・研究の基本として、本学科は5つの系で構成されています。

設計・計画系

最適な建築空間を創造する

人間をとりまく社会動向や、人間の行動・意識の法則など、様々な視点より最適な建築空間について考えます。建築デザインには、そこに至るプロセスも重視されます。
専門科目としては、建築成立の社会背景、空間構成原理、環境や人への影響を理解し、責任ある建築家、技術者として行動できる能力を身に着ける『建築計画概論』、建築のことば図面表現の基礎を学び、手のトレーニングとスケール感を養う『デザイン基礎Ⅰ』などがあります。

建築設計活動
国内外設計競技への提案、実施プロジェクトのデザイン、家具の制作、インスタレーション展示

地域計画の研究
地域活性化計画、公共施設の再編・再配置

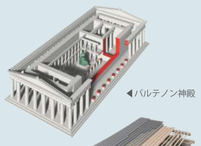
建築計画・生活環境の研究
歴史的都市や建築の再生、子どもの成育環境、高齢者の地域生活と住まい、集合住宅の共用空間・施設、超高層住宅の居住者意識

社会と建築の連動に関する研究
住居移動・住宅需要、マンションの管理問題、地場産業とデザイン関与

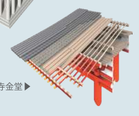
歴史・意匠系

建築の創造は歴史にある

建築は、つねに経験（歴史）に基づいて発展を繰り返しています。建築の創造の歴史は、同時に建築の歴史に学ぶという歴史です。この分野は次の専門科目を通して知識と見方を深めます。『建築史概論』では文明の変遷と建築表現の相関を学び、『日本建築史』『西洋建築史』で異なる文化それぞれの変遷を理解します。『近代建築史』は近代の発展過程を理解し、『アジア建築史』では、知られていないアジア建築の変遷を学びます。



◀パルテノン神殿



唐招提寺金堂▶

現代の庭園デザイン（枯山水の実作例）▲

歴史に学び新しい建築をつくる

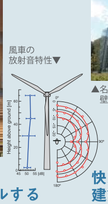
5000 年にわたる人類の建築の経験は、過去の建築にヒントを得て、新しい建築を生み出す歴史でした。この構図は近代になっても、基本的に変わっていません。過去の建築に学ぶ歴史、過去の建築から得たものを手がかりに、過去にはなかった新しい建築をつくり続ける歴史。これが建築の歴史です。現在の視点から過去の建築をみることはつねに新しいことであり、そこで何事かを発見することが「建築の歴史に学ぶ」ということです。

環境・設備系

快適な空間を創出し建物を維持する

光・音・熱・空気・水を適切にコントロールすることで初めて快適な空間が創造できます。ただし、そのための環境負荷を最小限にするための知恵と努力が必要です。専門科目では次のような科目を通して、理解を深めます。『建築環境概論』では、建築空間の熱・空気・光・音環境の基礎を学び、建築における環境計画の重要性を認識します。『建築設備概論』では、空調・給排水・電気設備の必要性とそれぞれの専門分野に必要な基礎知識を修得します。

ホール音響実験▲



風車の放射音特性▼

▲名古屋市科学館壁面緑化

ドイツKeim社の外ブラインド▼

音をコントロールする

音環境計画の役割は、室内に良い響きを生み出す事（文化性）と伝達情報の明瞭性を高める事（情報性）であり、また社会の様々な騒音を把握・制御する方法を計画し生活環境を豊かにする事（社会性）も重要です。これらの事について、フィールド、シミュレーション計算、音響模型実験を活用しながら研究を進めています。

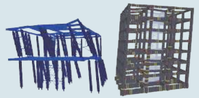
快適な環境を造り、建築を維持していく

温熱環境の設計は、まずその地域の気候特性をきちんと把握することが第一です。夏の日射は室内を極端に暑くするため、広や外ブラインドなどで上手に遮へいする事が重要です。逆に冬は日差しを取込むことで暖かく省エネな空間となります。建築設備には、空調・給排水衛生・電気の3つの種類があり、建物を長く使い続けるための設計をするだけではなく維持管理していくことも必要です。

構造系

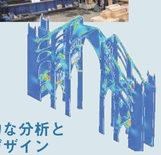
「安全性」そして「合理性」と「構造美」のバランスをめざす

建物が存在する前提として安全性の確保があります。また、構造デザインにおいて合理性と構造美は密接な関係があります。これらバランスの良い建築技術を目指します。主な専門科目として以下があります。『構造力学』では安全性評価や構造物として成立させる基本として力の流れ・変形・崩壊などを学び、『建築各種構造』や『建築構造デザイン』では鋼構造・RC構造・木質構造など各種構造形式の基本事項や特徴を踏まえ構造デザインの基本を学びます。



構造物の安全評価

新しい技術の導入、建築物への要求性能の変化などに伴い、より一層構造物の安全性評価は重要となってきています。実際の地震動を再現できる3次元震動台などを活用し、鋼構造・鉄筋コンクリート構造・木質構造を中心とした建築構造物の地震時損傷・破壊現象などを分析するとともに、研究成果を反映させた安全性評価のためのソフトウェアの開発を行っています。また、地震時居室内の家具の挙動の分析から、効果的な固定方法の開発や地域住民への啓発活動も行っています。



科学的な分析と構造デザイン

現存する歴史的建築物の構造デザインに関する科学的な分析により、先人達の経験に基づく知恵を解明し、また、今後の保存や利用に際しての耐震性能の評価や補強方法の検討を行っています。

材料・生産系

建物に用いられる材料と建物の作り方を学ぶ

建物を作るにはまず材料が必要です。その性質をしっかりと把握し、適材適所で材料を使用していく必要があります。また、その材料を使用して実際に建物を作るためには、どのような作り方で行うかを計画し、段取りを組んで行っていく必要があります。また、近年では完成後の維持保全も重要になっており、劣化が進んだ建物をどのように診断し、どのように補修・補強を行うかを考える必要が出てきています。このように材料・生産系は、建物を作る際に用いられる材料や、実際の作り方、さらにその維持保全の方法を学びます。材料・生産系の専門科目には、建物を形作っている様々な材料について、その性質や特徴を知り、その上で選択できるよう、建築材料全般について学ぶ『建築材料概論』、実際に建物を作る際にどのように作っているのか、その設計から着工までの流れ、さらに各工事の方法を学ぶ『建築生産概論』などがあります。

◀様々な建築素材

コンクリートのひび割れ実験▶

材料を学ぶ

建物に使用される材料は多種多様です。例として、建築材料の中でも主要材料といえるコンクリートは、セメントや砂、砂利を混ぜた材料であるため、その破壊・変形の仕方は複雑です。また、様々な理由で劣化しますし、ひび割れが入りやすいといった特徴もあります。このような各建築材料の性質や性能について様々な面から検討しています。また、建築物の状態を診断する様々な方法を研究史、その技術は歴史的な建造物の維持保全にも役立っています。

◀タイルの剥離

赤外線画像による剥離探知▶

作り方を学ぶ

建物を実際にどのように作るかを考えるのが建築生産です。木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造といった構造形式によって作り方は変わりますし、その中でも鉄筋コンクリート造は、鉄筋の配筋、型枠の作成、コンクリートの打設と工程が多く、把握しておくべき注意点も多くなります。

建築学科の主な進路先（近年の実績）

【大学院】

名城大学大学院／名古屋大学大学院／名古屋工業大学大学院／名古屋市立大学大学院／豊橋科学技術大学大学院／東京大学大学院／東京工業大学大学院／京都工芸繊維大学大学院／京都府立大学大学院／情報科学芸術大学大学院／京都造形芸術大学大学院／東京理科大学大学院／東京造形大学大学院／法政大学大学院／明治大学大学院

【総合建設業（五十音順）】

アイシン開発（株）／（株）安藤・間／石黒建設（株）／石橋建設興業（株）／（株）大林組／（株）オノコム／小原建設（株）／鹿島建設（株）／佐藤工業（株）／清水建設（株）／ジェイアール東海建設（株）／大成建設（株）／太日本土木（株）／（株）竹中工務店／ＴＳＵＣＨＩＹＡ（株）／東急建設（株）／徳倉建設（株）／戸田建設（株）／トヨタＴ＆Ｓ建設（株）／（株）長谷工コーポレーション／三井住友建設（株）／（株）ムラヤマ／名工建設（株）／矢作建設工業（株）

【設備・建材（五十音順）】

（株）INAXメンテナンス／（株）NTTファシリティーズ東海／（株）関電工／三機工業（株）／三協立山（株）／（株）サングリーン／三建設備工業（株）／新晃工業（株）／新菱冷熱工業（株）／昭和コンクリート工業（株）／住友大阪セメント（株）／（株）大氣社／タカラスタンダード（株）／ダイダン（株）／日本空調サービス（株）／パナソニックエコソリューションズ住宅設備（株）／菱和設備（株）／不二サッシ（株）／リンナイ（株）／YKK AP（株）

【官公庁】

国土交通省中部地方整備局／愛知県住宅供給公社／愛知県庁／静岡県庁／岐阜県庁／三重県庁／一宮市役所／稲沢市役所／いなべ市役所／犬山市役所／恵那市役所／春日井市役所／岐阜市役所／桑名市役所／小牧市役所／東海市役所／常滑市役所／豊明市役所／豊田市役所／豊橋市役所／名古屋市役所／半田市役所／松阪市役所／武豊町

【住宅・不動産（五十音順）】

旭化成ホームズ（株）／アップウィッシュ（株）／（株）アープランナー／（株）一条工務店／（株）オープンハウス／ゴールドトラスト（株）／サーラ住宅（株）／（株）三栄建築設計／昭和（株）／住友林業（株）／積水ハウス（株）／大東建託（株）／東海インプル建設（株）／東建コーポレーション（株）／トヨタホーム名古屋（株）／（株）日本ハウスホールディングス／パナソニックホームズ（株）／ミサワホーム（株）／（株）ヤマダホームズ／大和ハウス工業（株）

【意匠・構造・設備設計（五十音順）】

（株）ｉ-木構／（株）飯島設計事務所／（株）池下設計／（株）浦野設計／MD建築設計事務所／オークヴィレッジ木造建築研究所／SUPOSE DESIGN OFFICE／studio velocity一級建築士事務所／（株）スペース／（株）丹青社／（株）中建設計／中日設計（株）／（株）天童木工／トクラス（株）／（株）都市造形研究所／（株）乃村工藝社／（企）谷建築事務所／久安興之建築研究所／堀部安嗣建築設計事務所／ぼんぼり光環境計画／（株）間宮晨一千デザインスタジオ／（株）宮本忠長建築設計事務所／（株）ミューパートナーズ／六車誠二建築設計事務所／moKA建築工房／（株）ＲＩＳＥ構造設計／（株）ワーク・キューブ